



笛南中だより

甲府市立笛南中学校
文責 校長 井上有史

桑葉祭

9月21日(水)22日(木)と、本校最大の生徒会行事「桑葉祭」が実施されました。振り返ってみると、昨年は規模を縮小して1日のみの開催、一昨年は、体育部門、文化部門がそれぞれ別々に実施される等、ここ数年は感染症に振り回された経緯がありました。今年は、いくつか制限はあったものの、3年ぶりにコロナ前と同様の日程で実施出来、心より嬉しく思っています。とはいえ、ご来賓や地域の皆さまをご招待することは叶わず、また、保護者の皆さまにつきましても、人数制限をせざるを得なかったことはとても残念でした。

当日は、生徒達の全力のプレーや、迫力ある演技、心温まる発表等々、とても盛り上がりのある2日間となりました。今回の「笛南中だより」は、桑葉祭特集としてご報告させていただきます。また、当日の様子はHPからも発信しておりますので合わせてご覧ください。

事前の環境美化作業

8月下旬に予定されていました「PTA 親子愛校作業」は、感染症の急拡大を受け直前に中止の判断をさせていただきました。本校のグラウンドやその周辺は、とても肥沃な土壌に恵まれているせいも、手入れを怠るとすぐに雑草に埋め尽くされてしまいます。本年度も教頭先生や技能員さんを中心に継続的な手入れを行っていただきましたが、夏季休業中の環境整備にはどうしても限界があり、2学期スタート時点では、かなり雑草が目立つ状況となっていました。「このままでは、桑葉祭体育部門に影響が出てしまう！何とかしなければ。」こうした状況を打開するため、生徒会が中心となって全校生徒による環境美化作業が計画されました。内容は、朝の部活動の練習時間を使って、ブロックごとローテーションを組んで行うことにより、全校生徒が平等に1回は美化作業に参加するというものでした。結果としては、短時間でとても効率的に環境美化が図られました。本校では、本年度青少年赤十字活動の行動目標である「気づき、考え、実行する」ことを、様々な教育活動に取り入れています、まさに課題解決に向けた大切な取り組みとなったように感じています。おかげで、グラウンドやその周辺は見違えるほどきれいになりました。

全校ちぎり絵



各部門の取り組み

桑葉祭では、例年全校生徒がいずれかの部門に所属し、様々な役割を分担して準備を進めていきます。各部門では、3年生の部門長を中心に、取り組み内容の企画・運営が行われます。ここでは、各部門長からのコメントをご紹介します。

- ①一番苦労したこと
- ②当日に向けての意気込み

文化部門長 荒井輝星さん

- ①部門のみなさんをまとめることです。一人でまとめていくことが一番大変で、生徒会長にもサポートしてもらいながら準備をして、みんなをまとめるよう頑張りました。
- ②文化部門は、「自分の仕事に責任を持って、最高の文化部門にしよう！」という目標に向かって日々頑張ってきました。みんなの思い出となるような最高の文化部門にしたいです。

展示部門長 長塚陽菜乃さん

- ①全校製作のちぎり絵が思うように進まず苦労しました。
- ②みんなの作品をきれいに飾れたと思います。本番では、みんなに喜んでもらいたいです。

体育部門長 河野光希さん

- ①今回は時間がない中みんなで協力できました。苦労したことは、一回の活動の中で自分の仕事を覚えることです。本番でスムーズに行動できるようにみんなで頑張りました。
- ②本番は一回しかないのもみんなで協力して最高の桑葉祭になるように頑張りたいです。

ソーラン部門長 後藤楓さん

- ①全校生徒に声を出してもらおうことです。
- ②最高のソーランにするために、一人一人が全力を出すことです。

吹奏楽部門長 相田野々花さん

- ①音程が合わなかったこと、予定通りにいかずいくつかハプニングがあったこと。
- ②本番に向けてたくさん練習してきたので、盛り上がりのある演奏が出来るように頑張ります。



桑葉祭1日目(体育部門)

台風14号の影響により、20、21日に予定されていた桑葉祭は、全ての日程を1日スライドさせ、21日体育部門、22日文化部門の実施となりました。参観される保護者の皆様には多大なご迷惑をおかけしましたが、生徒達にとっては気温もそれほど上がらず絶好のコンディションになったと思います。

開祭式では、恒例となっている生徒会本部による寸劇を入れたオープニングセレモニーが行われ、生徒会長が力強く開祭を宣言しました。

その後は、グラウンドにて白熱したブロック対抗の競技が繰り広げられました。総合優勝は青ブロックでしたが、どのブロックもブロック長を中心に一丸となって競技に参加していて、とても清々しい雰囲気を感じられました。1日目の締めくくりは「笛南ソーラン」。20年以上の伝統を持つこの演技は、とても迫力があり見ている私たちに感動を与えてくれました。参観されていた保護者の方々からの熱いアンコール声援に答えて、最後まで全力で踊りきった全校生徒は本当に素晴らしくまた誇らしく思います。



交流学習

今回の桑葉祭では、中道南小出身の河西航太郎さんが、交流学習として笛南ソーランに参加しました。事前練習にも何回か参加し、当日はとても迫力あるパフォーマンスを披露しました。終了後小学校時代からの友人達と記念撮影。みんなとても素敵な笑顔で写っています。本校生徒にとってもとても思い出に残る経験となりました。



テントの設営・撤収

お手伝いありがとうございました

今年は、生徒数・職員数の減少傾向を受け、体育部門のテント設営・撤収作業について3年生の保護者の皆さまにご協力の依頼をさせていただきました。快くご協力いただいた皆さまのおかげで、とてもスムーズな運営を行うことが出来ました。ありがとうございました。

桑葉祭2日目(文化部門)

桑葉祭2日目は、体育館で発表部門が、ふれあいホールで展示部門が行われました。

展示部門



展示部門では、日頃の学習の成果が会場一杯に飾られ、参観された保護者の方々も興味深く見入っていました。特に桑葉祭ポスター展はとても丁寧に描かれた作品が多く見応えがありました。

吹奏楽部

発表部門のスタートは吹奏楽部でした。夏の暑い時期から取り組んできた練習の成果が披露されました。3年生にとっては、今回の発表が3年間の集大成となったため、演奏にもとても気迫を感じられました。アンコールでは、全校生徒にボンボンが配られ会場が一体となって盛り上がりました。



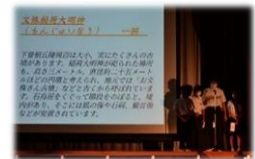
1年生学年発表



続いては学年発表。1年生は自作ビデオの上映、寸劇、ダンス発表と内容は盛りだくさんで、見ている生徒からは思わず笑いがこぼれる場面がたくさんありました。

2年生学年発表

2年生は、校外学習の成果を班ごとにまとめ、身近な地域の紹介プレゼンテーションを行いました。歴史的遺産が多い中道地区の魅力が盛りだくさんでとても勉強になりました。また、JRCトレセンの報告や弁論大会の発表も入り、とても充実した内容となりました。



3年生学年発表



3年生は、総合学習で取り組んできたSDGsの学習発表を行いました。一人一人が「自分にできること」を発信し、全校生徒に課題を投げかけました。未来に向けてとても影響力がある発表で、流石最上級生と感心しました。

どの学年の発表もテーマ性があり、日常取り組んだ学習の成果が感じられる素晴らしいものに出ることが出来たと思います。

全校合唱・閉祭式

学年発表の次は全校合唱。感染症対策のためマスク着用の上、距離を取っての発表だったため、練習も思い通りに行うことが出来ない中での発表でしたが、全校合唱が実施できたことには感慨深いものがありました。



閉祭式では、取り組み期間から当日までの様子が放映され、全校生徒にとって有意義な振り返りになったのではないかと思います。2日間多くの感動や元気を与えてくれた生徒のみなさんに感謝です。この経験を次の活動に繋げていって欲しいと思います。